



## 「相野谷を学ぶ」～「京城跡」フィールドワーク



本校では昨年度より、1年生の総合学習を「相野谷を学ぶ」と銘打ち、学校のすぐ隣りにある紀宝町指定文化財「京城跡(みやこのじょうせき)」の学習を行っています。

今年も、9月29日(木)の5～6限、本校の学校運営協議会(コミュニティスクール)委員の寺尾 邦義さん、紀宝町教育委員会の竹鼻 康さんのご指導のもと、城跡のフィールドワークに行ってきました。

京城跡は、紀宝町の中央を流れる相野谷川の中流域にある平山城です。東・北・西の面には堀切・切岸・豎堀を造成しており、豊臣秀吉が、北山道を経由した北山方面からの攻撃に備えて、臣下の堀内氏善に築城を命じたものだと考えられています。関係文献が少なく、多くの謎に満ちた城ですが、これだけの規模やつくりを持つ城は東紀州でもまれであり、歴史的・文化的にも非常に価値の高い城であると言えます。



当日は、かなり急な山道をヤブ蚊に刺されながら登りましたが、曲輪(堀や土塁を囲んで作った城内の区画)群や、豎堀(敵が山腹をつたって横から回り込むのを防ぐために縦に掘られた堀)群、堀切(敵の侵入を防いだり、高いところから攻撃するために作られた堀)など、敵の攻撃に備えた様々な工夫ある仕掛けの跡を見学して回りました。

- ① 郷土の伝統や文化、人々の暮らしに対する理解を深める。
- ② 郷土の文化財や伝統的な生活について、その歴史的背景を理解し、保存や継承のため郷土の人々の願いや努力について考える。
- ③ 郷土に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚をもち、地域の人々と主体的に関わろうとする態度を身につける。



学校教育における郷土学習の目標は、大きくまとめると上の3つに集約されると思います。

相野谷は、豊かな自然に恵まれ、貴重な文化財もあり、そして何よりも、家族や多くの地域の方々が、いつも自分たちを温かく見守り、支えてくれています。

素敵な私たちの「故郷」相野谷。ぜひこれからも、故郷に対する「誇り」と「愛情」を持ち続けてほしいと思います。

## 後期生徒会役員決定～生徒総会

10月21日(金)、後期生徒会役員、および各委員会の正副委員長、各学級役員等の任命式が行われました。4人の生徒会役員については、今回立候補者数がそれぞれの役職の定数を超えなかったため「全員当選」ということでしたが、式ではみんな緊張した面持ちで任命証書を受け取っていました。

任命式の後、さっそく後期の生徒総会が開催されました。「いかにより相野谷中学校を創り上げていくのか」について、生徒会本部や各委員会が提案する後期の活動方針に対して、質問・確認し、全員で承認する、いわば生徒会の「最高議決機関」です。

さて、今回の生徒総会を見ていて強く感じたことは、

1～2年生の姿勢・態度が、とても落ち着いて堂々としたものだった。

◆会長	大峪	咲さん
◆副会長	仮屋	悠斗さん
◆書記	札辻	浩太郎さん
◆会計	大峪	諒音さん



ということです。

緊張もあったでしょうが、呼名されたときの返事にしても、質問・発言にしても、それに対する答弁にしても、1学期当初と比べたらハキハキ・キビキビと、みんなとても落ち着いて堂々とした態度に「進化」していました。

このことは私だけでなく他の多くの先生たちも感じていたようで、「よく頑張っていたね」、「素敵だったよ」と子どもたち個々に対して賞賛の声をかけてくれました。

さあ、いよいよ3年生からバトンを引き継ぎました。今回の経験をさらなる「自信」へとつなげて、後期の様々な活動・行事に全力で取り組んでいてもらいたいと心から思います。

## 実りの秋～サツマイモの収穫

10月27日(木)の6限目、今回も学校運営協議会委員の寺尾邦義さんにご指導いただきながら、5月に技術科の授業で苗植えを行ったサツマイモの収穫を2年生全員で行いました。

今年は少し小ぶりの芋が多かったですが、「どうやって食べようか?」とみんな満足げでした。寺尾さん、お忙しい中本当にありがとうございました。来年も、ぜひよろしく願いいたします。

